

令和元年度千葉市芸術文化振興事業補助金 事業実施報告について

1 市民参加事業 申請事業数 14 事業、採択事業数 10 事業

(1)

行事名	第24回国際音楽の日コンサート
日時	令和元年9月29日(土) 14時00分～16時30分
会場	千葉市文化センター アートホール
主催団体	千葉市音楽協会
補助金額	200,000円
事業概要	「国際音楽の日」にちなみ、毎年開催するコンサート。市内で活動するプロの器楽団とプロ独唱歌手、公募による合唱団の編成で、楽曲等を演奏。
事業実績	出演者 50名(うち一般参加者19名) 来場者 250名
主催者感想等	<ul style="list-style-type: none"> ・チケット販売の役割分担がうまく機能しなかったこと(出演者の販売期待数、おんきょう理事等の声掛け等々)が来場者の伸び悩みにつながったと反省。 ・今後は企画段階から出場者と一体感のある販売戦略を模索していきたい。 ・公演当日、台風15号被災者支援の義援金を募り、64,774円を日本赤十字社千葉県支部を通じ千葉県に寄贈することが出来た。
視察所見等	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの出演者が多く、演目も楽しみあるものが多く幅広い世代で聞きやすいと感じた。 ・ソリストの服装も子どもが楽しめるようにしており、終始明るいコンサートであった。



(2)

行 事 名	第 66 回千葉市民音楽祭
日 時	令和元年 11 月 17 日 (日) 10 時 00 分～16 時 40 分
会 場	千葉市民会館 大ホール
主催団体	千葉市音楽協会
補助金額	200,000 円
事業概要	千葉市を拠点に活動する合唱、器楽の団体が 31 グループ集まって、午前午後の部に分かれて演奏。日頃の練習の成果を披露。
事業実績	出演者 580 名 (参加グループ…合唱団 26 グループ、器楽等 5 グループ) 来場者 約 500 名
主 催 者 感 想 等	<ul style="list-style-type: none">・単独の演奏会を開けない団体の貴重な発表の場として、存在感がある演奏会。・より参加団体を増やすために、広報活動、手段を更に幅広くしていく必要がある。・参加者、観客の高齢化が見えるので、若い人たちへの浸透を図りたい。・公演当日、台風15号被災者支援の義援金を募り、31,312円を日本赤十字社千葉県支部を通じ千葉県に寄贈することが出来た。
視 察 所 見 等	<ul style="list-style-type: none">・ホール全体に対しては客席にゆとりがあった。・各団体の演奏の合間に全体合唱といった、観客を巻き込んだ仕掛けもあった。・日頃は公民館等小さな会場で活動している各団体が発表を披露しあう場として有意義に機能していると感じた。・合唱のみではなく、指笛やプサルター、リコーダーなどバラエティに富んだ演目は聴き手に刺激を与えるよい構成であると感じた。・出演団体が登壇後、演奏前に自己紹介や演目の解説があり、聴き手は聴く体制を作りやすかった。



(3)

行 事 名	NPO 法人ドルチェ邦楽合奏団第 21 回千葉定期公演
日 時	令和元年 9 月 8 日 (日) 14 時 00 分～16 時 00 分
会 場	千葉市文化センター アートホール
主催団体	特定非営利活動法人ドルチェ邦楽合奏団
補助金額	200,000 円
事業概要	ドルチェ邦楽合奏団会員、公募による参加者が共演する演奏会。洋楽とのコラボ、外国人から見た邦楽器の特徴などを重点に企画。
事業実績	出演者 51 名 (うち一般参加者 21 名) 来場者 450 名
主 催 者 感 想 等	<ul style="list-style-type: none">・会場を満席のお客様で埋められた。・アンケート結果から、もっと若い層に興味を持ってほしい。
視 察 所 見 等	<ul style="list-style-type: none">・会場がほぼ満席になるほど観客がいた。・子どもから大人までの公募による参加者の「桜」テーマにした演奏は、誰でも知っているような曲がメインということもあり、観客の反応が非常に良く盛り上がっていた。公募の参加者も充実した活動ができたのではないかと思います。・もう少し演奏会の規模を大きくすることもできるのではないかと思います。

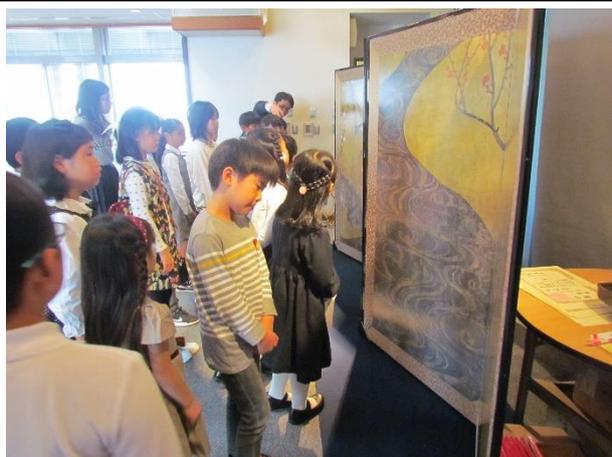


(4)

行 事 名	第 51 回千葉県水墨画同好会連合会展
日 時	令和元年 7 月 2 日 (火) ~7 月 7 日 (日) 9 時 00 分~16 時 30 分
会 場	千葉県立美術館 4、5、6、7 展示室
主催団体	千葉県水墨画同好会連合会
補助金額	200,000 円
事業概要	水墨画同好会連合会会員及び公募による水墨画・墨彩画・表装(掛軸)の展示や、来場者への水墨画・墨彩画体験教室。展覧会鑑賞料、体験教室ともに無料。 出展数 計 444 点 (うち公募作品 39 点)
事業実績	出展者 221 名 (うち一般参加者 35 名) 来場者 1,556 名 体験教室参加者 97 名 (児童 7 名)
主 催 者 感 想 等	<ul style="list-style-type: none">・会期中の行った体験コーナーは、特に土日には多くの親子も訪れ、墨で描く水墨画を楽しんで頂いた。一般市民の日本の伝統芸術文化の水墨画に関する関心の強さが窺えた。・生涯学習として水墨画の魅力を会員のみならず一般市民に伝えるよう事業内容の充実を図り、水墨画の普及拡大に努めたい。
視 察 所 見 等	<ul style="list-style-type: none">・観賞者は高齢層が多いものの、そこそこの人数が訪れていた。・各作品には出品者と作品名が記されている。たとえば体験コーナーを訪れた人向けにいくつかの作品について、技法や作品のテーマ等の解説をパネルにして掲示したら、より作品に興味を抱いてくれるかもしれないと感じた。・体験の内容は、基本的な線の引き方を学んだ後、花を描くというもので、比較的短い時間で作品を描くことができ、水墨画に親しむための入口として良い体験であると感じた。親子で楽しんでいる姿もあった。・体験コーナーに参加した人が新たに水墨画を始めたいくなるような、新規に水墨画を継続していけるような工夫があるとより良いと感じた。

(5)

行 事 名	第4回 MOA 美術館ちば児童作品展
日 時	<全体展示>令和元年10月22日(火・祝)～27日(日) <表彰式>令和元年10月26日(日) 14時00分 <巡回展・地域展>令和元年11月～令和2年2月
会 場	<全体展示>千葉市美術館 市民ギャラリー2 <表彰式>千葉市美術館 講堂 <巡回展・地域展>そごう千葉店、千葉市内区役所 等
主催団体	MOA 美術館ちば児童作品展実行委員会
補助金額	175,000 円
事業概要	市内小学生を対象とした絵画の作品展。
事業実績	出展者 1,332 名 来場者 約 5,200 名
主 催 者 感 想 等	<ul style="list-style-type: none">・医療関係者の要望から新たに市立病院で展示を行なった。・各展示会場で作品を鑑賞された方の喜びの声が多数あった。・その反響を表彰式や小学校を通して、子ども達に伝えることによって、自分の作品が人の役に立つという自己肯定感を高め、人や社会のためになることの喜び、大切さを児童が感じてもらえる機会となり、コンセプトである「子ども達の生きる力を育むちばをめざして」を育むことの一助となったと受け止めている。・回を重ねるごとに、多世代のボランティアの参加へと拡がりつつある。
視 察 所 見 等	<ul style="list-style-type: none">・市民ギャラリーにて、入選作品の展示をしていたが、大雨の影響もあってか観客はほぼいなかった。・全市的な規模で、小学生が美術館に作品を展示し鑑賞できる機会は貴重で、地域展で市内に身近なところで一般の方にみてもらう機会を設けることは重要だと感じた。



(6)

行 事 名	第 24 回千葉市謡曲大会
日 時	【能楽体験講座】令和元年7月～9月（1時間程度×3回実施） 【公演】令和元年10月5日（土） 9時45分～16時30分
会 場	【能楽体験講座】新宿公民会、小中台公民館、千葉市文化センター 【公演】千葉市文化センター アートホール
主催団体	千葉市能楽連合会
補助金額	200,000 円
事業概要	能楽連合会会員による謡曲、仕舞、舞囃子、小鼓の公演、能楽展示会及び能楽解説を実施。また、事前申し込みにより、「謡曲」、「仕舞」、「小鼓」の3コースによる能楽体験講座を実施し、当日の公演に出演。公演鑑賞料、受講料ともに無料。
事業実績	【能楽体験講座】参加者延べ31名（謡曲9名、仕舞8名、小鼓9名、太鼓5名） 【公演】出演者 102名（うち体験講座参加者の発表による出演者22名） 来場者 250名
主 催 者 感 想 等	・全国的にも先駆けて「アマチュア団体による能楽講習・講座の制度化・恒常化」を確立することが出来たと自負している。 ・今後更に進化させ、伝統芸術文化の向上と普及促進に貢献したい。
視 察 所 見 等	【能楽体験講座】 ・10名が参加。謡曲大会前最後の体験講座ということもあり、発表する演目を一連の流れを通して練習していた。 ・会場の都合や指導の満足度的に適当な参加人数だと感じた。 ・講師は4名おり、一人一人に細かいところまで丁寧に指導を行っていた。 ・謡曲大会に出演しなくとも、体験講座のみの参加でも可能でかつ無料ということもあり、伝統芸能を気軽に体験できるものとして貴重であると感じた。 ・同じ参加者が各ジャンルの講座を受講するなど、興味のある人は積極的に参加しているので、広報面の強化等で、能楽に興味のない方にも周知できると尚よい。 【公演】 ・体験講座の受講生の発表では子どもの参加もあり、複数のコースに重複して出演している人も見受けられた。 ・体験講座の受講者は服装について特に指定がないのか、私服の方がほとんどであった。会員と思しき人は和服だったため、変に目立っているような感じがした。普段しない服装ができるという点も特別感が生まれ発表会に対するモチベーションに影響する可能性があるため、工夫ができると良いと感じた。 ・客席にもう少し一般の観客が増えると、発表にやりがい生まれると感じた。 ・展示物はロビー中央に目立つ形で配置されており、鑑賞しやすかった。また、実際に使用している道具を間近で見ると様々な装飾が施されていることがわかり、能楽を知る良い機会だと思われる。

(7)

行 事 名	ヨーソロー1000人プロジェクト「1000人ヨーソロー」
日 時	—
会 場	—
主催団体	ヨーソロー1000人プロジェクト実行委員会
補助金額	0円
事業概要	参加者1,000名（太鼓、舞踊、篠笛のチーム）による一斉演奏を行う。また、ワークショップを実施し、希望者は演奏に参加。
事業実績	出演者 0名 来場者 0名
中止理由	事業の一部が補助事業対象期間（2019年4月1日から2020年3月31日）を外れ、また、変更後の事業が補助金交付決定した際の事業内容とは異なるため。

(8)

行 事 名	和ー楽しもう鑑賞と体験ー
日 時	令和2年2月22日(土) 13時00分～16時00分
会 場	千葉市文化センター アートホール
主催団体	伝統芸能に親しむ会
補助金額	200,000円
事業概要	囃子、箏、尺八、舞踊、津軽三味線、落語、茶華道といった伝統芸能について、プロとその弟子による公演と、当日来場者に講師指導により伝統芸能を体験してもらう。
事業実績	出演者 18名(うち一般参加者15名) 来場者 200名
主 催 者 感 想 等	<ul style="list-style-type: none">・コロナの関係で前日に、イベントを実施するかどうかの問い合わせが、何件もあり、楽しみにしている方々から、感謝の言葉をいただいた。・回を重ねるにつれ、リピーターの方が少しずつではあるが、増えてきている。また、今回は、関係者の知人ではなく、チラシまたは広告を見て外国の方の参加があった。 <p>今年度は、落語の体験を加え、ホールやロビーの使い方を工夫した。ホール内に楽器の体験を集め、ロビーで日本舞踊、落語、茶の湯(稲毛高校・同高校附属中学校茶道部)の体験を行った。ホール内は和の音、ロビーでは和の空間が広がり(時期もあって雛人形を近隣の人形展から借り、飾った。)、様々な面から、日本の伝統文化を鑑賞体験できる場となった。</p> <ul style="list-style-type: none">・アンケート結果によると、各公演についても好評であるが、体験者に限らず、特に体験と体験の発表が楽しかったという意見が多数あった。体験をしている方々は言うに及ばず、見学している方にとっても、和の文化に触れる機会になっている。 <p>また、今回は千葉女子高校オーケストラ部有志による日本舞踊の発表があり、次世代へ繋げていく上で良い公演内容になった。</p>
視 察 所 見 等	<ul style="list-style-type: none">・学生や小さい子どもを連れた家族もいた。・4部構成で2部で各分野の体験ができた。基本的にはプロから指導を受け、その後発表を行った。・体験は小さい子ども、中学生、お年寄りなど幅広く参加していた。(出演者とスタッフの声掛けによりそこそこの人数が参加していた)・体験の発表では、観賞者も手拍子やリズムをとる等で参加するような工夫がされていて、場内のみんなで公演を行っているような一体感があった。・全体的に和やかで温かい雰囲気だった。・やや勉強会の色があったので、プロの鑑賞を十分楽しみたい人にとっては物足りなかったかもしれないが、世代を超えてさまざまな分野に触れることができるので、文化芸術に親しむ機会としては非常に良いイベントだと感じた。・プログラムやインフォメーションで英語が用いられており、外国人への意識も感じられた。



(9)

行 事 名	「縄文ルネッサンス」 第一回野外公演@加曾利貝塚
日 時	令和元年 11 月 30 日 (土) 18 時 00 分～19 時 00 分
会 場	加曾利貝塚 復元集落周辺
主催団体	SORAE
補助金額	81,000 円
事業概要	縄文人の考え方をパフォーマンスで表現。復元集落全体を舞台とし、竪穴式住居棟に配置された出演者が即興表現。参加者が手をたたいたり言葉を発することにより、縄文をテーマに製作された音楽や映像のエフェクトやダンスに反映。
事業実績	出演者 30 名 来場者 100 名
主 催 者 感 想 等	<ul style="list-style-type: none">・ 11/30という季節も冬に差し掛かる中、天候にも恵まれ、出演予定だったパフォーマーも皆健康状態も良く参加でき、・ 市民の方々をも巻き込んだ一つの強い熱気を、加曾利貝塚の夜に生み出すことが出来た、ということは何より評価できる点である。また、パフォーマーも、関東を中心に様々な地域から集まってもらい、そこでアーティスト同士の新たな交流が生まれたことも特筆に値する。・ 他方で、会計や事業内での報告等を巡り、団体SORAE内でも意見の対立が生じたことも事実であり、そのような対立は助成金交付対象事業という極めて厳密な形式を求める事業の枠組みで生じたことでもあったので、今後SORAEとして事業を実施していくにあたり、個々のメンバーが深く反省し、また十分に意見交換し、思想を分かち合い、そうした基点をいま一度見直すきっかけともなった。
視 察 所 見 等	<ul style="list-style-type: none">・ 野外でBGMとともに様々な衣装をまとった出演者が踊るパフォーマンス。・ 観客が不思議そうに眺める。ステージという概念がないことから本当に目の前で踊るため、おもしろそうに鑑賞し、独特な空気を体感することができた。・ 最後に簡単なアナウンスの後、みんなで踊る時間があった。・ 即興表現ということもあり、不思議な空間が生まれていたもので、珍しい試みであった。・ 半面もう少し加曾利貝塚でやる意味、イベント、パフォーマンスの意図が伝わるとより良いと感じた。

(10)

行 事 名	おゆみ野文化祭
日 時	令和元年 11 月 16 日（土）～11 月 19 日（火） 11 時 00 分～19 時 00 分 令和元年 11 月 23 日（土）～24 日（日） 10 時 00 分～16 時 00 分
会 場	イオンスタイル鎌取 鎌取コミュニティセンター
主催団体	アートタウンおゆみ野
補助金額	101,000 円
事業概要	絵画・写真・書道・陶芸・生け花の展示と手作り体験、地域活動の展示、ワークショップ、お楽しみ広場（フード）と市民音楽コンサートを実施する文化祭。
事業実績	出演者 300 名（うち一般参加者 300 名） 来場者 2,000 名
主 催 者 感 想 等	運営スタッフ数の増加、出展・出演者の自主的運営などへの移行が、事業継続には不可欠である。
視 察 所 見 等	<イオンでの展示> ・ショッピングモールの中央の広場で作品を展示 ・平日ということもあり人は少なかったが、じっくりと作品を鑑賞できた。 ・身近な場所で、地域の人が作成した作品を鑑賞する機会になっていた。 <鎌取コミュニティセンターでの各イベント> ・会場の諸室をほとんど全て使った開催で、高齢者が多い印象があったものの、子ども連れ等様々な人が来館していた。 ・地域に根差したイベントとして、近隣のサークルの発表の場として目標になっていると感じた。 ・奥まった部屋にあるサークルや内容によっては集客がやや少ないところもあるので、参加者が満遍なく移動できるような動線があるとなおよいと思う。

2 市民育成事業

申請事業数 1 事業、採択事業数 1 事業

行 事 名	千葉ジュニアオペラ学校&クラシック音楽芸術アカデミー2019
日 時	【講義】 令和元年 7 月 14 日（日）～10 月 20 日（日） 【公演】 令和元年 10 月 12 日（土）
会 場	【講義】 真砂コミュニティセンター 【公演】 蘇我コミュニティセンター
主催団体	小空間オペラ TRIADE
補助金額	300,000 円
事業概要	主に小中学生を対象とし、公募により夏休みの期間、専門講師によるオペラや舞台、クラシックの講義を実施。合唱と演技の指導もあり。また、希望者はプロと一緒に公演に出演。
事業実績	【講義】 参加者 23 名 【公演】 出演者 42 名 出演生徒 16 名 来場者 56 名
主 催 者 感 想 等	<ul style="list-style-type: none"> ・多くのボランティアによって、子どもたちの見守りが出来た。 ・千葉市に関連する講師によって子どもたちへ音楽芸術への道を示せた。 ・子どもたちの家族からの協力を得られ、とても温かい時間を過ごせた。
視 察 所 見 等	<p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義内容は合唱で、講師の指導の下合唱の練習を行うもの。 ・パート練習等専門的な用語も用いながら指導していた。オペラに出演の際は一般の観客に披露するものなので、参加者、講師ともに意識の高さを感じられた。 ・雰囲気は厳しい部分もありつつも和やかな場面も多く、参加者と講師の距離が近く感じられた。 <p>【公演】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ座席は埋まっており、観客の年齢層が広がったため、出演する子どもの友達や保護者などが観覧していると思われる。